

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ  
つなげよう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「ロータリーは親睦と  
奉仕の融合」



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン  
2560地区ガバナー 山本 和則  
高田ロータリー会長 水上 喜芳  
幹事 大島 誠

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行  
笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

## 第25回例会 ■ 1月8日(金)

No.25

### 会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さん新年あけましておめでとう  
ございます。

今日は、村山市長さんをお迎えし  
ての新年初例会です。

後程、市長さんのお話にも出て来  
るでしょうが昨年は、新幹線が開通し、この上越  
地方にとって50年100年に一度の交通体系の変  
革が起きました。

1893年明治26年に上野～直江津間いわゆる信  
越線が全通し、1966年昭和41年特急「あさま」  
が走り、そしてその50年後、北陸新幹線が開通  
しました。

北陸新幹線開通に伴い、役割を終えた信越本線  
は、直江津、新潟間を残し、一部民間三セクに移  
管し、一番開通に苦勞した横川～軽井沢間が廃線  
となりました。一抹の寂しさを覚えます。

しかし所用時間も、明治の開通当時の十数時間  
から北陸新幹線の最短で2時間を切るまでにな  
りました。

それにより、日帰りビジネス圏が東京は言うに  
及ばず東は千葉・茨城、西は静岡県磐田市まで  
広がりました。

また、首都圏の居住地域として上越市が週末市  
民、金帰月来圏内に入ったと言えます。

先人、諸先輩のご苦勞に感謝し、この後、市長  
さんのお話をお聞きしたいと思います。

### 出席報告

出席率 100%

### ビジター

上越市長 村山秀幸様  
瀬川由樹子君・平丸真騎君 (高田 RAC 会長・幹事)

### お客様スピーチ

高田 RAC 会長 瀬川由樹子君  
2月13日 RAの地区大会が開催されます。  
会員の皆様からのご出席をお願いします。

### セレモニー

入会式



吉田 巧君 (株吉田総合鑑定経済研究  
所 代表取締役)

### 委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

会長・幹事——本年もよろしくお願ひいたします。  
本山秀樹君——母校青山学院大学が箱根駅伝で  
連覇しました。この勢いで7月のスタートに  
向かいます。

### 幹事報告

配布物：週報No.23、24・ガバナー月信1月号・ロー  
タリーの友1月号

報告：1月のロータリーレート 120円/ドル

## 講話

## 新年のご挨拶



皆様、新年明けましておめでとうございます。この新たな年が、希望に満ちた優しさと喜びに溢れる幸多き年となりますように、心からお祈り申し上げます。

本日は「上越市の現状について」と題しお話しいたします。

まずは、人口の推移と見通しや人口動態・年齢別の人口構成と市の財政状況についての課題に対応するための重点戦略「上越市第6次総合計画」ですが、①「暮らしの安心感を高めるつながりの構築」②「地域の元気と働きがいを生む生産の創造」③「交流圏の拡大を生かした豊かさの向上」として、「すこやかなまち～人と地域が輝く上越～」を将来都市像に掲げ、人と人、人と地域、地域と地域の間のあるべき関係性を礎として、市民一人ひとりの安定的な生活基盤が確保されるとともに、心の豊かさが満たされ、快適で充実した日々の暮らし、「すこやかな暮らし」を全ての市民の皆さんに送っていただくことができるまちづくりを目指しています。

次に、地方創生の取組については、キーワードとして①「チャレンジ」②「つながり」を掲げ、

## 上越市長 村山 秀幸 様

このまちの持っている多くの資源を積極的に活用し、克服すべき課題に対し、果敢に「チャレンジ・挑戦」していく時であるという思いを込め、本市が持っている様々な資源や人材の様々な「つながり」を再構築し、また新たに生み出していくことが有効であるとの考え方を表現しました。本市には、豊かな自然や、歴史・文化、充実した広域交通網、活発な地域活動や市民活動など様々な「まちの力」があり、火力発電所の立地やLNG基地の稼働、北陸新幹線の開業などこれまでの取組が着実に実を結び、新たな「まちの力」となっており、今後、県立武道館の建設、上信越自動車道の4車線化や新たな水族博物館の建設など、近い将来を見渡すと、まちの力が一層高まる夢のある大規模プロジェクトも進行しております。

上越地域の発展には課題も数多くありますが、市民の皆さんとともに「すこやかなまち」の実現に取り組み、持続可能な地域としていかなければならないと考えております。

結びとなりますが、高田ロータリークラブの皆様におかれましては、今後も様々な場面で引き続き変わらぬお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

